

# 矢田川の源流を訪ねよう！

矢田川で“川と戯れてみたい”中流・下流にお住いのみなさん！

矢田川の上流は瀬戸川と山口川です。さらに上流の赤津川の右支川白藤川をご存知ですか？その水源は三国山 701m の南にある無名の山で標高は641mです。1922年に設立された東大の演習林（今は生態水文学研究所の赤津研究林）の中を白藤川が流れています。豊田へ抜ける峠は北戸越峠 526mです。研究林では90分ほどモデルコースを歩いて観測施設、禿山・崩壊地帯、スギ・ヒノキ林の試験地などを見学し、水源の大切さや森林の保全について学びます。

江戸から明治にかけ一帯は陶磁器用薪炭採取のため禿山でありましたが、オーストリアのお雇い技師ホフマンの治山、砂防工事を始め、多くの緑の回復工事が行われました。東大の演習林はこの研究を行ってきました。山口川では海上の森にひっそりとH=16.6mの山口堰堤があります。今は砂防の役割しかありませんが、もともと日本で最初のいわゆる多目的ダムです、

その他瀬戸市の水源や下水道処理場も訪ね、水質試験をするなど矢田川の水質問題（矢田川は庄内川とともに全国ワースト10）も学びます。

また両岸が水辺の緑の回廊となっている山口川の最上流にある屋戸橋でタモを持って川に入り、魚や水生昆虫と出会います！

講師（同定・解説）は愛工大教授の内田臣一先生と当会の池田正明さんです。

**開催要項**（あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業）

○日時 8月12日（月・山の日の振替え休日）8:50～17:30

○集合・解散 大曾根駅 北口東の外の広場

○参加費用 ￥1000（中学生以下は無料、当日集めます。）

○準備するもの

水に入ってもよい衣服とスニーカーで、タモ・バケツをもって。

藪漕ぎもありますので長袖のシャツ・長ズボン（着替えも）、タオル、日よけ帽子、サングラスなど

昼食（おにぎりなど）、水1リットル

○ルート：数字は滞在時間（分） 交通手段：マイクロバス



山口川水辺の緑の回廊



赤津研究林の流出量観測



源流・白藤川



8月12日

（月・祝）

大曾根 9:00 → ①矢田川魚道 20' → ②瀬戸川合流点魚道 20' → ③瀬戸市下水西部処理場 20' → ④山口川水辺と緑の回廊 10' → ⑤山口堰堤 30' → ⑥昼食 30' → ⑦赤津研究林・白藤川・源流 100' → ⑧瀬戸市水道水源 30' → ⑧屋戸橋で魚・水生昆虫捕り/観察・講義 90' → 大曾根 17:30

**お申込みが必要です** 先着順 24名まで

氏名・年齢・住所・緊急連絡先・と電話番号（保険、雨天中止の場合などの連絡用）タモの要否  
申込み・お問い合わせ先 主催者 矢田・庄内川をきれいにする会 本守真人(090 - 7025-5934)